

整理番号
42

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	健幸都市推進事業（再掲）				担当課	健幸都市づくり課
業務名	歩きたくなるまちづくり				担当係	健幸都市推進係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	健康づくり			事業区分	直営
主な取組	1	歩くことを基軸とした健康づくり			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	9	健幸都市推進事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。

事業概要【PLAN】
「歩くこと」を基軸とした健幸なまちづくりの推進のため、世代を問わず参加できるウォーキングイベントの開催、だてな健幸ポイントの普及、広報・啓発活動を行います。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができる。
-----------------	----	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民、地域コミュニティなどと協働し施策に取組み、連携を図りながら「健幸づくり」を推進していく。あらゆる施策・事業において、健幸都市推進の視点のもと総合政策として全庁的な取組を推進していく。モデル地区からの成果を活かした全市展開を協働して進めていく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	45	76	1,011		
	一般財源	千円	6,009	6,631	8,535	9,292		
事業費合計		千円	6,009	6,676	8,611	10,303		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1日に30分以上歩く人の割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	44.0	46.0	48.0	50.0	52.0
			実績値	34.5	47.1			
			達成率	78.4%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	少子高齢化が進む中で、市民一人ひとりが健康寿命を延ばし、健やかで幸せに暮らすことができるまちづくりが求められていることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	本事業の中で実施している市民向けウォーキングイベントの参加者や健幸ポイント事業におけるアプリ利用者を対象にそれぞれアンケート調査を実施した。その結果、事業実施の有効性が一定程度達成できていることを確認した。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	必要な事務を項目化しスケジュール化している。また、アンケート調査はワンペーパーを基本としている。さらに、Logoフォームを活用するなど事業の効率化に努めている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年4月から伊達市第2次健幸都市基本計画の運用を開始し、“歩くこと”基軸としたまちづくりを推進している。 健幸ポイント事業におけるアンケート調査では、利用者の感想であり科学的・医学的根拠が伴うものではないが、歩くことや運動することが体を健康にすることはもちろん、趣味や友好関係といった心の豊かさにも間接的に寄与していることが分かった。 健康づくりは、地道に取組を続けていくことが重要であるので、今後も事業継続し、課題改善に努めていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
43

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	健幸都市推進事業（再掲）				担当課	健幸都市づくり課
業務名	共有会議の開催				担当係	健幸都市推進係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	健康づくり			事業区分	直営
主な取組	2	世代ごとに運動に親しむ習慣づくり			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	9	健幸都市推進事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。

事業概要【PLAN】
各所属で把握している子どもの心身の健康状況や課題を共有し、連携して健康教育の内容等を検討します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができる。
-----------------	----	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民、地域コミュニティなどと協働し施策に取組み、連携を図りながら「健幸づくり」を推進していく。あらゆる施策・事業において、健幸都市推進の視点のもと総合政策として全庁的な取組を推進していく。モデル地区からの成果を活かした全市展開を協働して進めていく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	45	76	1,011		
	一般財源	千円	6,009	6,631	8,535	9,292		
	事業費合計	千円	6,009	6,676	8,611	10,303		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
共有会議の開催回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	2	2	3
			実績値	1	2			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	乳幼児期における食習慣・歯科保健等に関して関連する課が情報共有し連携していくことは、健康教育の充実を図るためには重要であり、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	子どもの心身の健康課題を共有し中・長期的な視点を持って健康教育を推進することは、子どもたちが安心安全で豊かな生活を送るうえで有効だと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	関連する課（こども未来課、ネウボラ推進課、健康推進課、健幸都市づくり課等）がそれぞれ持ち合わせた情報を共有することで、事業重複の防止や効率化につながっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年4月から伊達市第2次健幸都市基本計画の運用を開始し、“歩くこと”基軸としたまちづくりを推進している。 健幸ポイント事業におけるアンケート調査では、利用者の感想であり科学的・医学的根拠が伴うものではないが、歩くことや運動することが体を健康にするのはもちろん、趣味や友好関係といった心の豊かさにも間接的に寄与していることが分かった。 健康づくりは、地道に取組を続けていくことが重要であるので、今後も事業継続し、課題改善に努めていく。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
45

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	健康運動習慣化支援事業			担当課	健幸都市づくり課
業務名	-			担当係	元気づくり係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	健康づくり		事業区分	一部委託
主な取組	2	世代ごとに運動に親しむ習慣づくり		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	健康づくり推進事業	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。

事業概要【PLAN】
・健幸クラブFine：通所型の運動教室で健康運動指導士による参加者に合わせた負荷設定により、効率よく筋力トレーニングを行います。
・元気づくり会：元気な市民と地域づくりを目指して各集会所等で運動普及を実施し、住民が主体的に継続することをサポートし、全市展開を進めます。
・いきいきウォーキング：健康運動指導士による効果的なウォーキング方法を伝達し、ウォーキングの楽しさを普及します。

対象【PLAN】	健康運動教室：40歳以上の市民 いきいきウォーキング・元気づくり会：全市民	意図【PLAN】	健康増進・生活習慣病の予防と改善、介護予防を図り健康寿命が延びる。
-----------------	--	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
①健康づくりのために運動をする人が増える
②身近なところで取り組める集会所が増える

事業費【D0】	年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	18,155	16,582	15,001	15,000	
	一般財源	千円	8,834	6,350	14,064	18,583	
	事業費合計	千円	26,989	22,932	29,065	33,583	

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健幸クラブFineの65歳以上の参加者のうち週1回以上参加したことがある者の割合	%	目標値が実績値以上となること	目標値	45.7	52.1	57.5	62.0	65.0
			実績値	38.8	38.3			
			達成率	84.9%	73.5%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	健幸クラブFineについては、民間の介護施設や運動事業など外部事業の実態を把握したうえで、介護予防事業として行政が実施すべき事業内容を関係各課、各団体と検討していく。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	数値目標には達しなかったが、生きがいづくりや通いの場として、高齢者や低体力者、基礎疾患を持つ市民の介護予防や運動するきっかけづくりに繋がる事業として運動機会の充実に貢献した。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事業の評価、分析のため、参加者の介護、医療情報を基にした分析の取り組みを行い、介護認定については、一定の成果が得られた。継続して医療費等を検証していく。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和6年度より健幸クラブFineは、介護予防や生活習慣病予防を重点とした教室として継続していくため、対象年齢の引き上げや教室内容の見直しを行った。しかしながら、見直しの影響で参加の予約が取れないコマが増えた。次年度は予約で定員を超えることが少ない会場を中心に全会場のコマ数や曜日などの調整を行い、参加しやすい環境を整え、参加者の拡充を図る。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
46

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	健幸都市推進事業（再掲）				担当課	健幸都市づくり課		
業務名	健康講座の実施				担当係	健幸都市推進係		
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	1	健康づくり			事業区分	直営		
主な取組	3	「健幸意識」の醸成・啓発			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	9	健幸都市推進事業費			

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。

事業概要【PLAN】
健康講座や講演会、様々な媒体での情報発信等により、学校や職場、地域等、生活の中で「健幸」について考える機会を増やし、「健幸意識」の醸成を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができる。
-----------------	----	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民、地域コミュニティなどと協働し施策に取組み、連携を図りながら「健幸づくり」を推進していく。あらゆる施策・事業において、健幸都市推進の視点のもと総合政策として全庁的な取組を推進していく。モデル地区からの成果を活かした全市展開を協働して進めていく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	45	76	1,011		
	一般財源	千円	6,009	6,631	8,535	9,292		
	事業費合計	千円	6,009	6,676	8,611	10,303		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
情報発信の回数（講座、講演会）	回	実績値が目標値以上となること	目標値	44	51	58	64	70
			実績値	82	107			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	生活習慣病や介護の予防にかかる取組は、少子高齢化が進む中で重要であり、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民一人ひとりが健康になることは、本人のみのならず家族や傍にいる多くの人の幸せにつながるだけでなく、地域の活力にもなるため、講座等により「健幸意識」の醸成を図ることは有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	ホームページ等で広く周知するとともに、チラシや申込書類はワンペーパーにし、市民にわかりやすくするとともに効率的に事務運用できるようにしている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年4月から伊達市第2次健幸都市基本計画の運用を開始し、“歩くこと”基軸としたまちづくりを推進している。 健幸ポイント事業におけるアンケート調査では、利用者の感想であり科学的・医学的根拠が伴うものではないが、歩くことや運動することが体を健康にするのはもちろん、趣味や友好関係といった心の豊かさにも間接的に寄与していることが分かった。 健康づくりは、地道に取組を続けていくことが重要であるので、今後も事業継続し、課題改善に努めていく。
--------	----	-------------------------	--